



| | |
|-----------|-----------------|
| 新村の人口・世帯数 | 令和2年 11 月 1 日現在 |
| 世帯数 | 1,314 戸 |
| 男女 | 1,533 人 |
| 合計 | 1,658 人 |
| 合計 | 3,191 人 |

「新村歴史探訪」開催

10月17日(土) 新村文化財保存会主催、あたらしの郷協議会・新村公民館共催の新村歴史探訪が開催されました。平成29年刊行の「新村の宝ガイド」を活用し、地域を歩き大人や子ども達に広く歴史文化を伝えることの大切さを思い、その第一目を北新区から始めたとのこと。ところが、あいにくの大雨になり急遽、公民館屋内での座学に変更となりました。そんな悪天候にも拘らず出席した16名の皆さんは、文化財保存会、長岡壽会長の多岐にわたる丁寧な説明に、耳を傾けていました。

「新」をニイと読むのは、万葉の時代まで遡る古い読み方であるとか。また、庶民の墓石に元禄以前の年号が刻まれているのは、マユツバ物とか。更に明治になる前、平民は苗字が無かった



歴史を語る長岡会長



真剣に耳を傾ける参加者

というの表向きで、裏では一様に苗字があり、下新村的寺子屋で学んだ人の名前に苗字が記載されている等、興味の沸くお話でした。さて、かつては新村の古代・中世は未開の後進地域とされてきました。ところが新村遺跡の発掘で、一気に光がさしたとのこと。調査によると平安時代前半には小さな集落があり、平安時代末から鎌倉時代には大きなムラの跡が発見。しかも鎌倉時代の市内最大級建物跡も発見されたという。こうなれば、安塚・秋葉原両古墳群の被葬者は誰? 妄想は広がります。今後歴史探訪は続きます。奮って参加しましょう。

公民館 秋の移動講座

11月5日(木)、松本市立考古博物館と内田の馬場家住宅で、20名の参加者で移動講座が開催されました。

午前に見学した博物館では、平成12年当時、新村遺跡の発掘調査を手掛けた方から、古く中世の集落の変遷等の説明を受けました。平安時代前半には、小さな集落が点在、平安後半から鎌倉時代には大きな集落跡が見つかり、その中には市内最大

級の屋敷跡も出現。水田・水路の条理的遺構も見られ、新村も古くから開発されていたことがうかがえました。午後に見学した馬場家住宅は、嘉永4年(1851)の建築といわれており、村の名主以上の家格といわれたように諏訪藩主専用の「中門」を構える等、屋敷地全体に、その風格を感じました。



遺跡の出土品について説明を受ける

「楽しい運動会にしたい」

新村保育園長 寺島 洋子

コロナ禍を配慮して、以上児クラスのみクラスごと時間配分をして10月6日(火)に運動会を行いました。プログラムNO・1は3歳児いちご組。三匹の子ぶたに扮した子ども達が繰り広げるダンスと竹ぼっくり競争。無事おおかみから逃げることでできました。NO・2は4歳児すみれ組。園庭中の遊具や木まで使って体を鍛えながらひようつたん島を探す旅。望遠鏡もゲットしました。NO・3は5歳児さくら組。竹馬、かけっこにリレー、昨年の年長さんのダ



飛び跳ね! ソーラン! ソーラン!

ンスにあこがれて踊ったソーラン節は息のそろった見事な発表でした。体を動かして遊ぶことが大好きな新村っ子達の日頃の姿を運動会でどう表現するのか? 保護者はどう参加するのか? など検討を重ねて加えるのかなど検討を重ねた実施でしたが『楽しい運動会』『かっこいいところや頑張っているところを見せたい』『年長さんの思い描いた通りのすばらしい運動会になりました。』

八束穂

いつだったか、交通渋滞に関するアンケートがあった。渋滞する原因は様々である。最近特に感じるのが交差点で右折時に曲がれないことだ。▼右折矢印が出たにも関わらず直進車が遠慮なしに突進して来るため、あつという間に信号は変わってしまった。数台しか進めないということが度々あった。以前は自分もそうしがちであったが、ここ数年は気を付けるようになった。右折が曲がりにくいから強引に大型車にかぶせて右折したり、信号が変わりかけても右折してしまう、こんな現象も起きています。▼右折時の渋滞はほんのちよつとの譲り合う気持ちがあればと常々思う。他人の気持ちは分からないが、右折を待つドライバーはきつとイライラしながら待っているだろう。▼現代は車社会で便利な時代だが、あまりに車が普及して主要道路では渋滞が起きている。それを改善する策がある。それと良いのだが、みんなが気持ちにゆとりを持ち、穏やかな車社会になってほしいものである。

みずゞ屋の町歩き

松本大学の「茶房みずゞ屋」プロジェクトに所属するメンバーたちが、新村地区を歩き回って、良いところを探すことをはじめました。新型コロナウイルスの影響で、茶房みずゞ屋を運営できていない今、新村を知ることからはじめたいという想いがあります。9月17日(木)は、新村駅周辺や旧野麦街道、大学の東側周辺を散策し、地域の歴史・自然・文化を感じ取りました。参加したメンバーからは「旧野麦街道がそのまま国道になったと思っていたが、そうではないことを知って驚いた」や「散策して新村についてさまざまな気付きがあった」という声が挙がりま



気付きの散策

10月26日(月)には第2回が行われ、茶房「楽蔵ぴあの」を訪れました。店内は素敵な雰囲気です、注文したものをいただきました。きなが

ら、お店の話などをお聞きしました。道中では前回と同じように、景観を楽しみました。いつか茶房みずゞ屋の運営が再開できたときに、多くの方と今回の話を共有出来たらと思います。

錦秋を求めバスハイク

10月6日(火)参加者28名は白馬五竜高原高山植物園にゴンドラに乗り到着、「地蔵の頭」へのハイキングでした。楽しみにしていた山々の景色は霧の中でしたが、「地蔵の頭」付近は紅葉が始まっており散策路を一周。季節の移ろいを感じて満足のいち日でした。



あいにくの曇り空でも満足の笑顔

秋の一日

9月22日(火・祝)ものぐさ大学「おでかけウォーキング」は16名の参加で岡田地区を歩きました。秋雨の中、岡田公民館を出発、芥子坊主山を目指します。途中で雨は上がり、リタイヤする方もなく

頂上に到着しました。昼食を取り下山、参加者は「岡田にこんな山があったとは知らなかった」と。ちょうど良い距離のウォーキングとなりました。35地区制覇も約半分ほど、全地区制覇を目標に歩みを続けます。



心地よい山道を歩く

秋の野麦路を歩く

新の里ウォークラリーが10月11日(日)懸念された台風が逸れ、親子連れなど約30名が参加して行われた。

新の里の旧野麦街道を歩くのが目的です。バスに2往復していただき、三溝の安養寺付近から5組のグループに分かれ順次スタート。根石から下新までの道中となる。

チェックポイントで

は問題が出され「新村に1本しかないこの樹の名前は？」という難問



偲びながら野麦路を行く

が出された。ぜひ読者の皆様も探してみてください。道はくねくねと地区を巡っており「こんな所を始めて歩いた」と参加者は自動車のない時代を偲んでいた。

安塚公民館で松本山雅の応援



ゴール!松本山雅!

無観客や入場制限の試合が始まるため、ホーム戦もアウェー戦も全試合を対象として応援しています。他町会の皆さんの参加も大歓迎です。皆と一緒に松本山雅のJ1復帰を目指し、楽しく応援してみませんか!!

新館編集委員紹介



松森 清昭

この半年間、公民館の様々な活動に参加させていただき、日常の幸福にたくさん出会ったことができました。日常生活の中でのつながりを今後とも大切にしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



千野 泰聖

日頃、新村地区の皆さんとは茶房みずゞ屋プロジェクトでお世話になっていきます。皆さんが読みたくなるような館報づくりに貢献できるように頑張ります。